

令和元年度 森林環境譲与税の使途公表

市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績並びに税導入の効果
			うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）		
笛吹市	① 意向調査の準備作業	森林経営管理事業	2,585	2,585	市内の森林情報を正確に把握するため、過去10年間の間に森林整備されていない人工林位置を特定し、意向調査の優先箇所を把握することを目的に、森林整備意向調査準備業務を民間業者に委託	<p>【ワンフレーズ】 森林環境譲与税の活用により、当初は半分程度しか把握していなかった市内森林情報が、意向調査準備業務を実施したことにより、市内の森林情報を全て把握することができた。この事業を実施したことにより、今後実施する意向調査の優先箇所も把握することができた。</p> <p>【詳細】 当市は市内面積の約60%が森林であることから、本税を未整備の人工林整備に活用し、森林の公益的機能増進による自然災害防止等を目的とした森林整備を推進することに取り組んでいる。</p>
笛吹市	⑩ 基金積立（森林整備等）	笛吹市森林経営管理基金積立	3,603	3,603	今後増大すると予想される森林経営管理法に基づく市町村自らによる森林整備（市町村森林経営管理事業）に備えた積立	<p>本市の私有林面積約7,074haの施業履歴・人工林等の森林情報をデータ化 森林経営計画策定箇所(9箇所)のデータ化を実施</p> <p>昨年度は意向調査準備業務を実施したことにより、森林整備が過去10年間の間に実施された森林の抽出及び市内の森林情報等を取得することができた。このため、本年度より実施する所有者の意向調査優先箇所の把握や、一部地域にて実施するモデル森林整備箇所の詳細な抽出作業が可能となり、今後も継続的に実施する森林経営管理の基礎情報を得ることができ、今年度以降に実施する森林整備箇所の把握につながった。</p> <p>事業費以外の金額は令和4年度以降に本格的に実施する森林整備に使用するため、基金に積立てを行った。</p>